

63 期生

2 年生学年だより



豊中市立第五中学校 2015 年 2 月 5 日(金) No.37

2月2日、聞き取り学習がありました

井上康さんからお話を聞きました。井上さんの「康」という名前の話から始まり、これまでの様々な出会いから井上さんが得たもの、人とのかかわりによって世界が広がっていった様子など、幼少期から今に至るまでのお話の中でたくさんのメッセージを投げかけてくださいました。

「他の人との交流で“輪”が広がっていった。自分と同じ思いを持った人、違った感覚を持った人、いろいろな考えに出会うことができ、凄く感動した。」





いろいろなことを感じ取る 「アンテナ」これ大事やで！！



「自分とは全然違う考えの人と出会ってびっくりした。そして仲良くなった。」ご自身が経験されたことから、いろいろな人と関わること、そしてアンテナを張るように相手の気持ちや考えを感じることの大切さを井上さんは教えていただきました。

一方で、「後悔していることがある。」という言葉から始まり、「人間って弱い、自分のことが嫌で嫌で仕方がなかった。人の顔色見てびくびくしていたし、毎日しんどいと思うこともあった。でもやっぱり人の前ではニコニコしていた。」と、当時のつらかった気持ちも隠すことなく語っていただきました。

「自分のことを認める、ええこともわるいことも含めて自分自身なんや。つきおうてあげや！これが自分やん。」

今回、井上さんはみなさんにたくさんのメッセージを伝えていただきましたが、みなさん自身はどのように感じたのでしょうか。お話の中には、ドキっとするような体験談や、自分もだ…と共感するような内容があったかもしれません。振り返ってみれば、相手のことを考えず、自分のことばかりになってしまう、頭では分かっているけど行動に移せない、つい油断して忘れ、人を傷つけるようなことをしてしまう。また、人の顔色や態度を気にしてしまったり、不安な気持ちになったりと、様々な悩み事を抱えている人もいるかもしれません。

「1人で出掛けることがこわくなくなりました。」井上さんはお話の中でおっしゃっていました。一方通行ではないお互いを認め合う気持ちを持ち、双方向で支え合うことができれば、相手を信じて任せることもできるし、逆に自分も相手のために助けになることができる。63期生のみなさんはどうでしょうか？井上さんの言葉を受けて行動に移すことができるのか、メッセージをどのように感じ取ったのか、感想文は後日学年通信に載せますが、一人一人が井上さんからのメッセージを受け止め、一方通行だけではない“相互の関係”をつなぐために自分はどうしたら良いのか、みなさんも考えていきましょう。

